

2014年10月31日

250年前のモーツァルト愛用のヴァイオリンがやってくる！

第一生命プレゼンツ 国際モーツァルテウム財団展 海老澤敏監修

モーツァルト コレクション&コンサート 『250年の響き』

2014年11月22日（土）～28日（金） 於：第一生命保険日比谷本社1F

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）は、「モーツァルト コレクション&コンサート 『250年の響き』」を2014年11月22日（土）から2014年11月28日（金）まで開催します。

日本のみならず世界的にも愛好家が多い天才モーツァルト。その生誕地として有名なオーストリア ザルツブルクから、モーツァルトの原資料収集や学術研究で世界的に知られる国際モーツァルテウム財団のコレクションが、このたび日本にやってきます。

250年前に製作され、モーツァルト自身が愛用したヴァイオリンをはじめ、初来日となる品々も数多く展示されます。あわせて、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団のコンサートマスターをお迎えし、この貴重なヴァイオリンによるロビーコンサートも同時開催します。

天才モーツァルトの音楽を、観て、聞いて、直接感じていただける1週間を是非お楽しみください。

<概要>

- 名称：モーツァルト コレクション&コンサート 『250年の響き』
- 開催場所：第一生命保険日比谷本社 1F （東京都千代田区有楽町 1-13-1 DNタワー21）
- 日時：2014年11月22日（土）～2014年11月28日（金）
※コレクション・コンサートともに入場無料
- 主催：第一生命保険株式会社 / 国際モーツァルテウム財団
- 後援：駐日オーストリア大使館
- 協力：ザルツブルク市観光局

<モーツァルトコレクション> 日比谷本社 1F 南ギャラリー

- 開館時間：9時30分～19時30分 ※入館は19時まで。
- 展示品：モーツァルトがウィーン時代に使用したヴァイオリン（1764年）
弦楽作品などの自筆譜
「ヴァイオリン教程」初版 など19点展示



<モーツァルト・プログラムによるロビーコンサート> 日比谷本社 1F エントランス

■ 開演時間：11月22日（土）／23日（日）／24日（月・祝）／25日（火）／28日（金） 18時～
11月26日（水）／27日（木） 16時～

■ 出 演：フランク・シュタートラー（ヴァイオリン）
菅野 潤（フォルテピアノ）

※ロビーコンサート前後および26、27日の終演後はヴァイオリンの展示はされません。

<アクセスマップ>

第一生命保険日比谷本社 1F南ギャラリー

■住所

東京都千代田区有楽町 1-13-1 DNタワー21

■交通機関

JR 山手線 有楽町駅下車 2 分

地下鉄日比谷線・千代田線 日比谷駅下車 1 分

地下鉄都営三田線 日比谷駅下車 1 分

地下鉄有楽町線 有楽町駅下車 1 分



<モーツァルト コレクション&コンサートの見どころ>

モーツァルトの生地ザルツブルクのモーツァルテウム財団から年来の第一生命との緊密な友好関係の印、そして証(あかし)として、財団が所蔵するモーツァルトの貴重なオリジナル資料が送られて来て、展示や演奏に提供されています。

今回は、そのモーツァルトがウィーンで愛用したものであるというヴァイオリン（アントーニョ・ダッラ・コスタ製作、1764年）のほか、自筆譜や初版譜、あるいは肖像画、さらにはモーツァルトを幼い頃からヴァイオリンに親しませてくれた父親レーオポルトの名著『ヴァイオリン教程』（1756年刊）なども展示され、彼の名教師ぶりを偲ばせるとともに、ザルツブルクの名オーケストラ、モーツァルテウム管弦楽団のコンサートマスター、フランク・シュタートラー氏による上述のヴァイオリンを使ったロビーコンサート（ピアノ：菅野潤氏）も催されます。

こうした貴重な資料、楽器、そしてその楽器の演奏を通して、稀代のピアノ奏者であったモーツァルトが、同時にまた弦楽器、それもヴァイオリンの天才的な名手であり、それがこの楽器による数々の名曲の生みの親ともなったことを実感して頂きましょう。
(海老澤敏)

海老澤敏氏 プロフィール

モーツァルト、ルソーに関する世界的権威。文化功労者。元国立音楽大学学長。現在、尚美学園大学大学院名誉教授、日本モーツァルト研究所所長、ザルツブルク国際モーツァルテウム財団名誉財団員、同財団モーツァルト研究所所員、ポローニャ王立音楽アカデミー名誉会員。芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、オーストリア共和国有功勲章 学術・芸術第一等十字章、仏政府学術功労勲章他、受賞(章)多数。



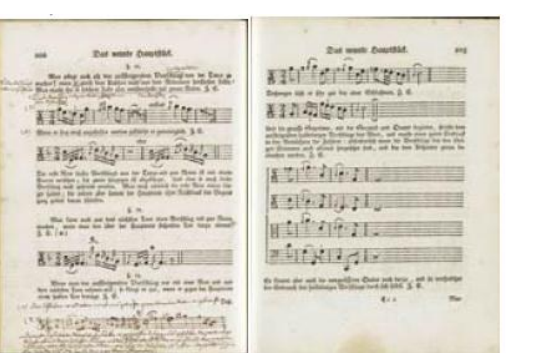


<国際モーツァルテウム財団とは>

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの生誕地オーストリアのザルツブルクにあり、モーツァルトにゆかりの建物（生家・住家）の保存管理、歴史的資料の収集、研究、その成果の刊行を行っている国際的な財団です。100点を超える自筆譜、モーツァルト自身の手紙、父レーオポルトの手紙、モーツァルトの所有品など、数万点に及ぶ世界最大規模のモーツァルト関連資料を保有し、国際モーツァルト週間（音楽祭）の開催、モーツァルト生家と住家（舞踏教師の家）でのコレクション展示も行っています。

（参考）

1. 主な展示品

	<p>モーツァルトがウィーン時代に使用したヴァイオリン ピエートロ・アントーニョ・ダッラ・コスタ製作 1764年、トレヴィーゾ（イタリア） *本邦初公開</p> <p>今回のイベントの目玉の展示品であり、コンサートでも主役をつとめるこのヴァイオリンは、昨年、モーツァルテウム財団に寄贈された逸品。</p> <p>モーツァルトがウィーンでヴァイオリンを中心とした創作活動および演奏活動のために入手し、多くの名曲を生んだ楽器と考えられる。</p>
	<p>《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》(K525) 用の第2楽章〈ラルゲット〉ハ長調 K. Anh. 69=K⁶ 525a 自筆譜（断片、16小節） *本邦初公開</p> <p>この曲の楽器編成は《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》の編成と同じで、他の曲にはまったく見られないものであること、また、使われている五線紙の紙質から、その第2楽章の初稿であることは疑いない。</p> <p>モーツァルトはこの緩徐楽章を書き始めたが、わずか16小節で罷めて、現在のアンダンテのテンポをとる〈ロマンス〉を作曲したものであろう。</p>
	<p>レーオポルト・モーツァルト著『基本的ヴァイオリン教程』 1756年（アウクスブルク、ロッター刊） *本邦初公開</p> <p>レーオポルトのこの『ヴァイオリン教程』は、18世紀のもっとも代表的な楽器奏法の文献と評価され、今日でも必要不可欠な古典派期の著作として珍重されている。</p> <p>18世紀にすでにオランダ語訳、フランス語訳等が刊行されている。</p>

2. ロビー・コンサートのプログラム (予定)

11月25日(火) / 26日(水)	=ストーリー1
11月22日(土) / 23日(日) / 24日(月・祝)	=ストーリー2
11月27日(木) / 28日(金)	=ストーリー3

● ストーリー1 「我が世の春～ウィーンの栄光」

1784年、モーツァルトはウィーンに移り住んで3年目の春を迎えていました。

作曲の依頼は引きも切らず、演奏会は好評。まさに「我が世の春」を迎えていたその年の4月、20歳の天才ヴァイオリニスト、レジーナ・ストリナザッキがウィーンを訪れます。モーツァルトは彼女の為に新しいヴァイオリンソナタ(K.454)を書きました。

明るく華やいだこの曲は、当時のモーツァルトの成功を象徴しているようです。

【曲目例】

- M1 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 K.301
- M2 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 K.304
- M3 幻想曲 ニ短調 K.397
- M4 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ 変ロ長調 K.454

● ストーリー2 「充実の年～ハイドンの賞賛とともに」

1785年、モーツァルトの栄光は続いていました。

モーツァルトのピアノ協奏曲の中でも最も有名な第21番が作曲された年でもあり、モーツァルトの弦楽四重奏曲の中でも最も良く知られるハイドン・セットが完成した年でもあります(初版本展示)。

ウィーンを訪問した父レーオポルトが、ハイドン本人から「あなたのご子息は、間違いなく最も優れた作曲家です」と賞賛されたエピソードでも知られています。

30歳を目前にして作曲家として実りの時を迎えようとしているモーツァルトの名曲をメインにしたストーリーです。

【曲目例】

- M1 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 K.379
- M2 幻想曲 イ長調 K.396
- M3 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ 変ホ長調 K.481

● ストーリー3 「K.526が意味するもの～深く透明な哀しさ」

K.526が作曲された1787年は、モーツァルトにとって大きな出来事があった年です。モーツァルトに多大な影響を与えた父レーオポルトが亡くなったのです。この頃から、モーツァルトの音楽の特徴「明るさの中にある透明な哀しさ」は深まって行きます。本人は知る由もありませんが、彼に残された時間はわずか4年。澄み切った美しさの中に浸透する哀しさ・・・モーツァルトの神髄が現れるこの最後のヴァイオリンソナタは、苦悩をも秘めたモーツァルトの晩年を予感させます。

【曲目例】

- M1 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ ヘ長調 K.376
- M2 アダージョ ロ短調 K.540
- M3 クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 K.526